

「施策」総括票

施策展開	3-(6)-イ	環境関連産業の戦略的展開	
施策	①環境配慮型資材の活用推進		215頁
対応する 主な課題	○環境関連産業を創出し戦略的な展開を図るため、企業等のエコロジー製品や環境サービスの開発、技術力強化と経営・営業スキル向上への取組の支援が求められているほか、環境関連産業の安定的な需要を確保するため、公共工事における環境配慮型資材(ゆいくる材)の積極的な利用が必要である。		
関係部等	土木建築部		

I 主な取組の推進状況 (Plan・Do)

(単位:千円)

平成24年度				
	主な取組	決算見込額	推進状況	活動概要
1	建設リサイクル資材認定制度(ゆいくる)活用事業	11,133	順調	○「リサイクル資材評価委員会」を開催し、建設リサイクル資材の認定を行った(493資材)。また、行政関係者を対象とした研修会を開催し、一般県民へはパネル展示等の周知活動を行うなど、同制度の普及を図った。(1)

II 成果指標の達成状況 (Do)

(1) 成果指標

	成果指標名	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
1	-	-	-	-	-	-
	状況説明	-				

(2) 参考データ

参考データ名	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
沖縄県リサイクル資材(ゆいくる)評価認定業者数	81業者 (22年度)	82業者 (23年度)	86業者 (24年度)	↗	-

様式2(施策)

Ⅲ 内部要因の分析 (Check)

・沖縄県リサイクル資材(以下、ゆいくる材)については、認定数が493資材となり、平成28年度目標400資材以上を上回っていることから、認定資材の増加に向けた取組から、利活用の促進に重点を移す施策の展開が必要である。

Ⅳ 外部環境の分析 (Check)

・ゆいくる材の種類によっては価格が高いなどの理由により利用率が低く認定を廃止する資材もある。安定的に需要を確保するためには、公共事業での利用率の向上に加えて、民間工事での利用拡大が必要であるため、ホームページやパンフレット等を活用し、一般県民に対しても周知し普及を図る必要がある。

Ⅴ 施策の推進戦略案 (Action)

・県、市町村関係者へゆいくる材の利用促進の説明会等を行うほか、国に対しても利用促進の協力依頼を引き続き行う。
・様々な説明会等を活用して行政職員、工事受注業者の意識向上を図る。
・県(技術管理課)のホームページやパンフレットの充実、パネル展示等で一般県民へも広く情報提供を行い、公共工事だけでなく、民間工事でも「ゆいくる材」を積極的に利用してもらえるよう周知を図る。